

2022年度 卒業生アンケート結果について（報告）

< 調査概要 >

□ 調査の方法

調査対象 2020年度学部卒業生（スカラシップ奨学生1期生22名）

調査時期 9月（2022年9月1日～2022年9月30日回収分までを集計対象とした）

調査方法 Googleフォームを用いた無記名による調査

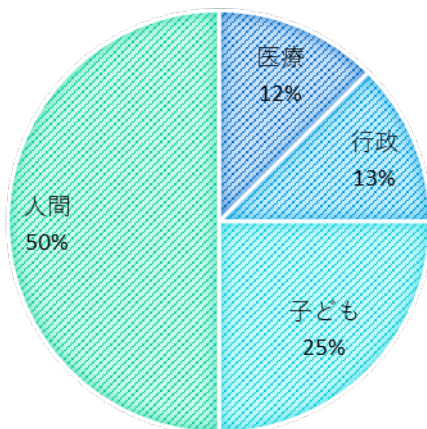
回収状況 回収率：36.4% 対象者数：22人 有効回答数：8件

□ グラフ参照時における共通注意事項

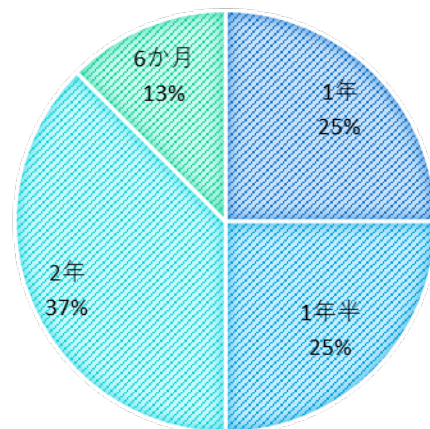
端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1. 属性等について

1) 所属していた専修

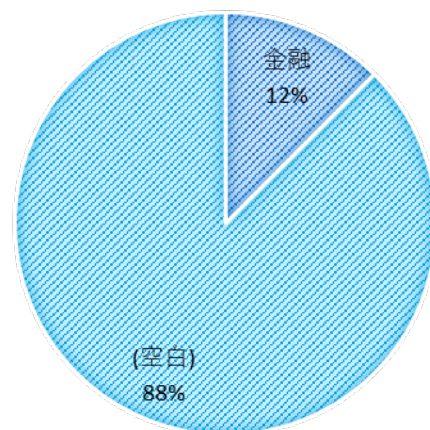
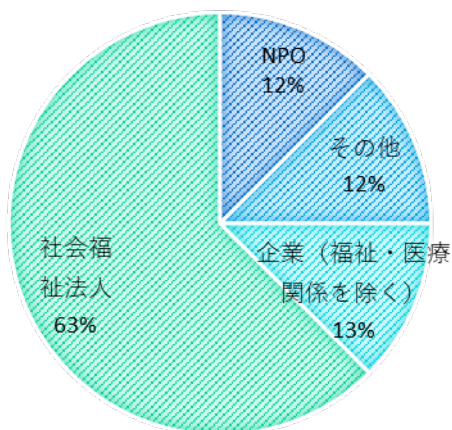


2) 社会人経験年数

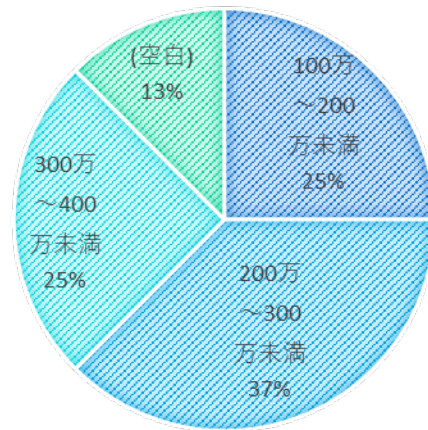
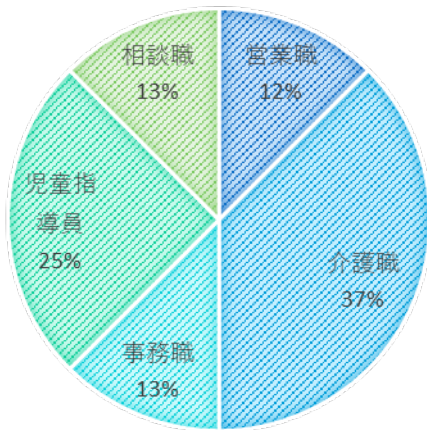


3) 現在の業種について選択してください。

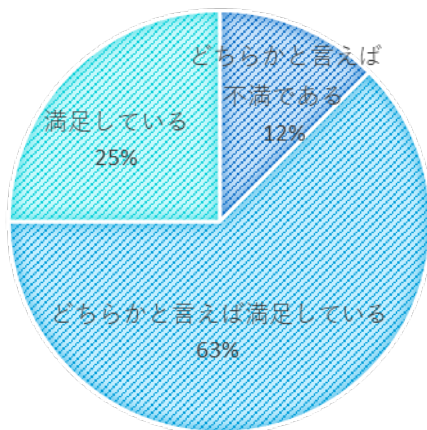
4) 3) で「その他」を選択した方の内訳



5) 現在の職種について選択してください。 6) 現在の年収について選択してください。

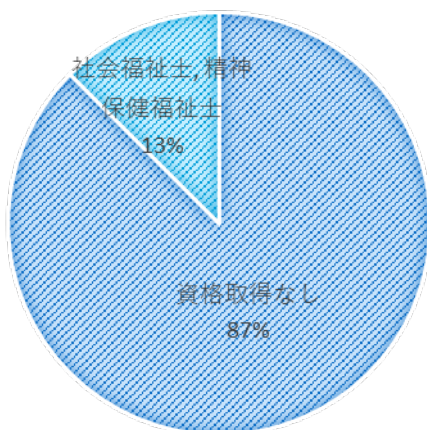


7) 現在の職場に全体として満足していますか。 8) 7) で回答した理由について記入してください。



- 給与、残業
- 大変なことのほうが多いがやりがいを感じて働けているため
- 大方満足しているため
- 働きやすい
- 満足でも不満でもどちらでもない
- 問題なく働けているため
- 利用者様だけでなく、スタッフを大切にしてくれる会社だから
- 利用者様はもちろん、スタッフを大切にしてくれる会社だから

9) 大学卒業時の資格取得状況について



2. 専修別 学習成果（DP 到達度）に関する事項

[大学卒業時の状況：学部共通項目]

①社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



②現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



③様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



④社会福祉の学びの上に立って、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



⑤社会福祉に関する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑥地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を考えることができる。



⑦多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら考えることができる。



⑧生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



⑨国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。



⑩人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。



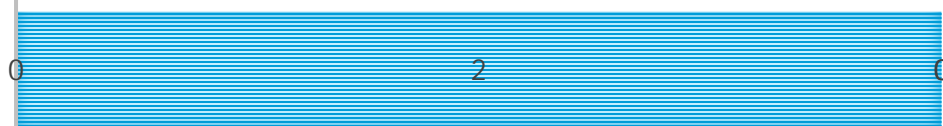
■ とても身についた ■ 一部身についた ■ あまり身につかなかった ■ まったく身につかなかった

[大学卒業時の状況：行政専修]

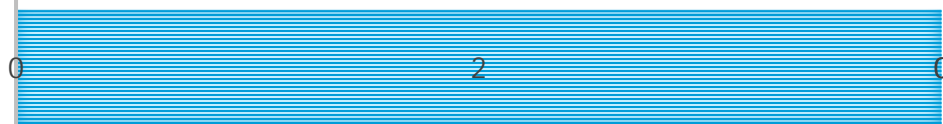
⑪現代社会において子どもや家庭の抱えている問題とその解決のあり方を社会全体との関わりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



⑫社会福祉の学びの上に出て、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



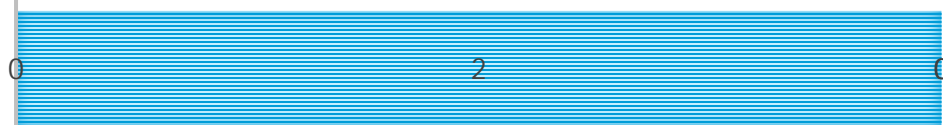
⑬子どもや家庭の抱えている問題に向けて、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



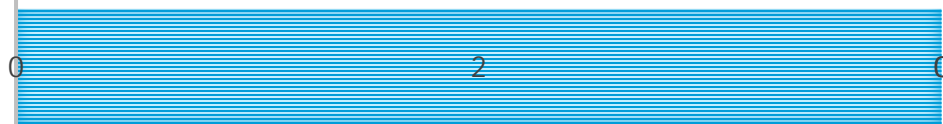
⑭子どもや家庭の抱えている問題に対して、その課題を探りみつけようとする考えを持ち、課題解決に向けて取り組む方法を思考し、判断することができる。



⑮多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



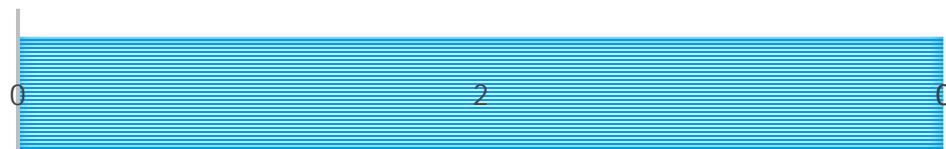
⑯子どもや家庭の抱えている課題に対して、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



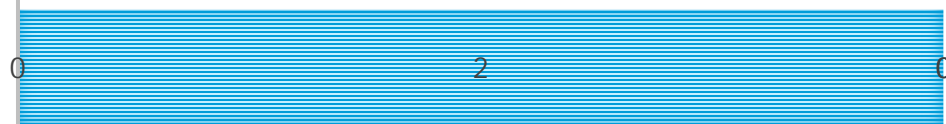
■とても身についた ■一部身についた ■あまり身につかなかった ■まったく身につかなかった

[大学卒業時の状況：子ども専修]

⑪現代社会において子どもや家庭の抱えている問題とその解決のあり方を社会全体との関わりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



⑫社会福祉の学びの上に立って、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



⑬子どもや家庭の抱えている問題に向けて、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



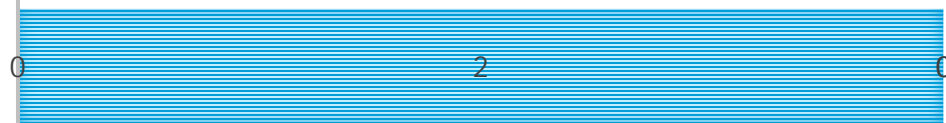
⑭子どもや家庭の抱えている問題に対して、その課題を探りみつけようとする考えを持ち、課題解決に向けて取り組む方法を思考し、判断することができる。



⑮多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



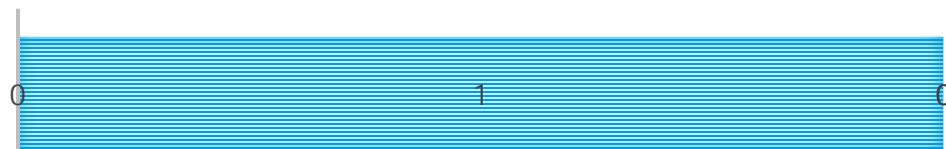
⑯子どもや家庭の抱えている課題に対して、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



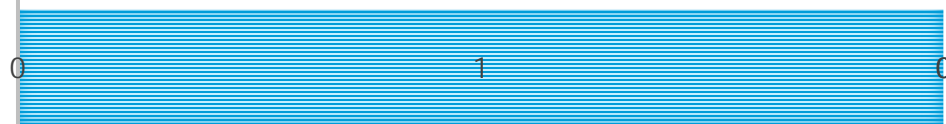
■ とても身についた ■ 一部身についた ■ あまり身につかなかった ■ まったく身につかなかった

[大学卒業時の状況：医療専修]

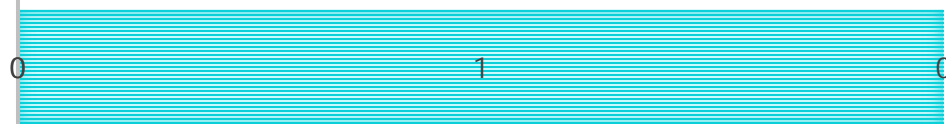
⑪保健・医療と連携して、援助を必要とする人たちの抱える問題とその解決のあり方を社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



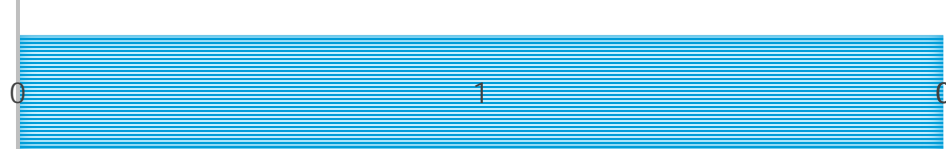
⑫社会福祉の学びの上に立って、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



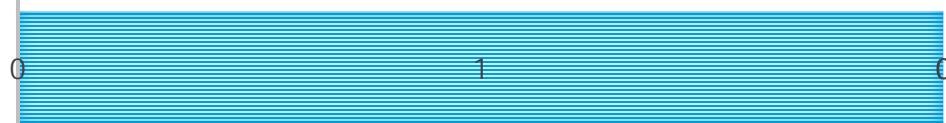
⑬傷病に伴い課題を抱えている人たちと共に、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



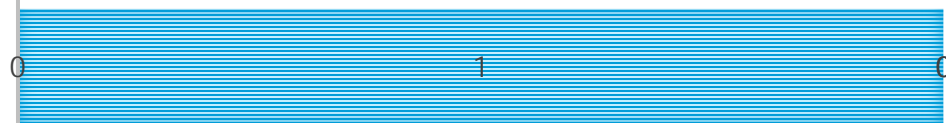
⑭傷病に伴い直面する課題について、現状とニーズを見極め、その課題を探りみつけようとする考えを持ち、課題解決に向けて取り組む方法を思考し判断することができる。



⑮多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑯傷病に伴う課題解決のために、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



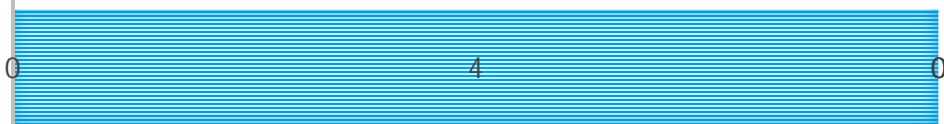
■ とても身についた ■ 一部身についた ■ あまり身につかなかった ■ まったく身につかなかった

[大学卒業時の状況：人間福祉専修]

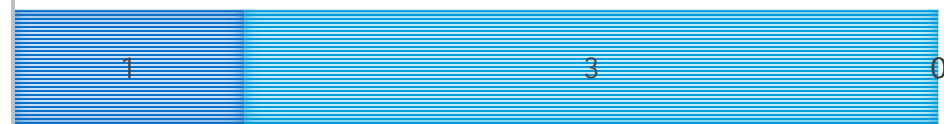
⑪支援を必要とする人々の抱える問題やそれを支えるコミュニティのあり方を社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



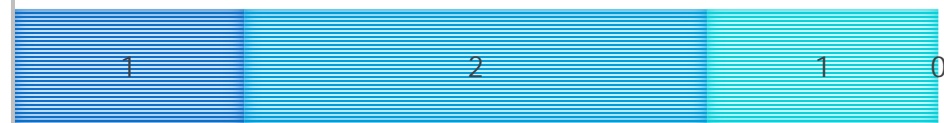
⑫社会福祉の学びの上に出て、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



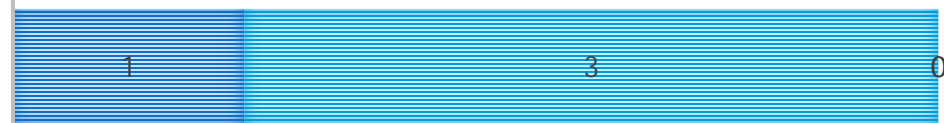
⑬支援が必要な人々に向けて、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



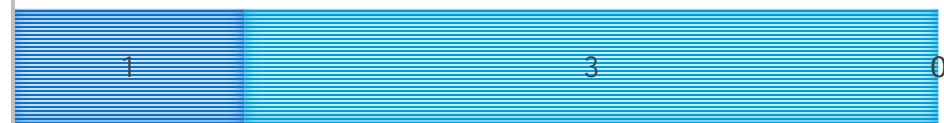
⑭支援が必要な人々の問題を発見し、その解決に向けて取り組むための方法を思考し、判断することができる。



⑮多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



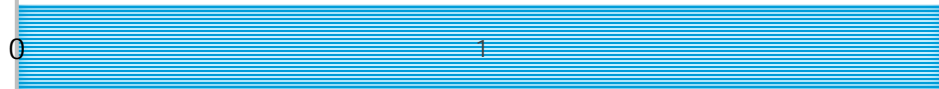
⑯支援を必要とする人々の抱える課題に対して、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



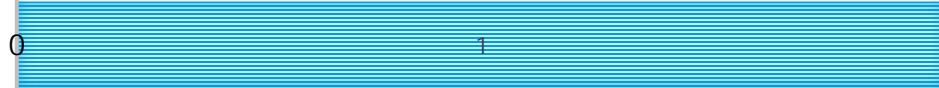
■ とても身についた ■ 一部身についた ■ あまり身につかなかった ■ まったく身につかなかった

[社会人経験を踏まえての状況：行政専修]

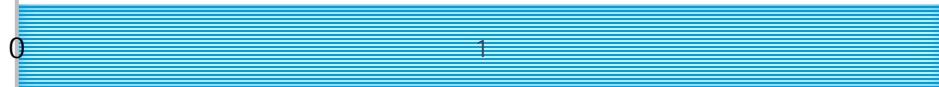
① 社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



② 現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



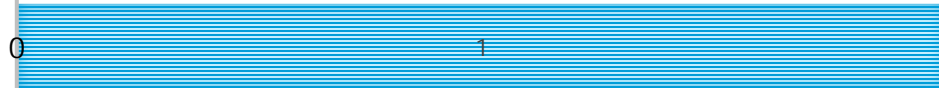
③ 様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



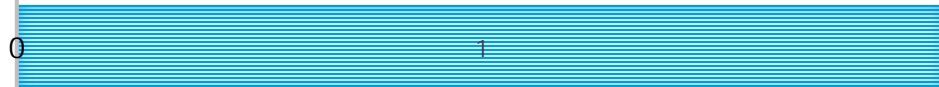
④ 社会福祉の学びの上にとって、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



⑤ 社会福祉に関係する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



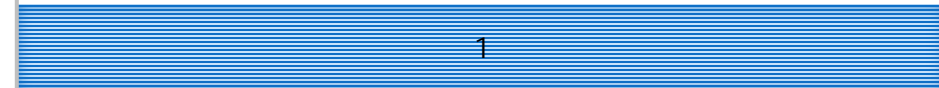
⑥ 地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を思考することができる。



⑦ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑧ 生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

⑨ 国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。

1

0

⑩ 人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。

1

0

⑪ 現代社会に生きる人々の抱える生活問題を幅広く認識し、その問題の解決に向けて必要となる、社会福祉にかかわる政策、計画の立案について理解し、実践に活かすことができる。

1

0

⑫ 社会福祉の学びの上にとって、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。

1

0

⑬ 行政と社会福祉に関する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。

1

0

⑭ 現代社会に生きる人々の抱える生活問題の解決に向けて、行政が取り組むべき政策課題を思考し、判断することができる。

1

0

⑮ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。

1

0

⑯ 現代社会に生きる人々の抱える生活問題に対して、行政として取り組むべき、政策や計画を立案し、実行することができる。

1

0

■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

[社会人経験を踏まえての状況：子ども専修]

① 社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



② 現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



③ 様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



④ 社会福祉の学びの上において、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



⑤ 社会福祉に関係する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑥ 地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を思考することができる。



⑦ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑧ 生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

⑨ 国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。



⑩ 人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。



⑪ 現代社会において子どもや家庭の抱えている問題とその解決のあり方を社会全体との関わりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



⑫ 社会福祉の学びの上にとって、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



⑬ 子どもや家庭の抱えている問題に向けて、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑭ 子どもや家庭の抱えている問題に対して、その課題を探りみつけようとする考えを持ち、課題解決に向けて取り組む方法を思考し、判断することができる。



⑮ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑯ 子どもや家庭の抱えている課題に対して、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



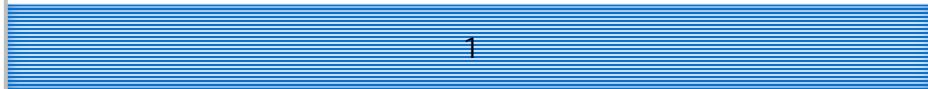
■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

[社会人経験を踏まえての状況：医療専修]

① 社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



② 現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



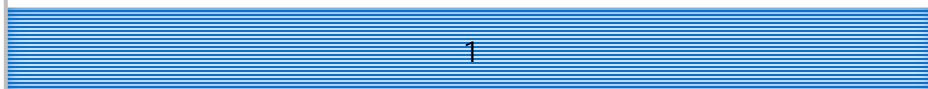
③ 様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



④ 社会福祉の学びの上にとって、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



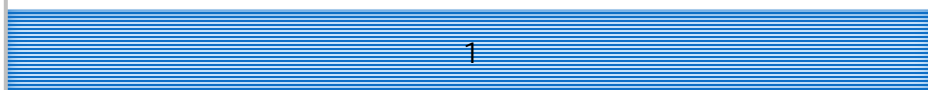
⑤ 社会福祉に関係する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑥ 地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を思考することができる。



⑦ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。

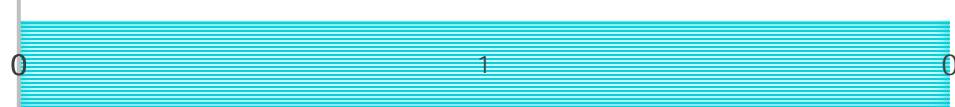


⑧ 生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

⑨ 国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。



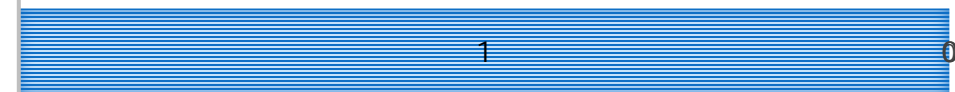
⑩ 人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。



⑪保健・医療と連携して、援助を必要とする人たちの抱える問題とその解決のあり方を社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



⑫社会福祉の学びの上にとって、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



⑬傷病に伴い課題を抱えている人たちと共に、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑭傷病に伴い直面する課題について、現状とニーズを見極め、その課題を探りみつけようとする考えを持ち、課題解決に向けて取り組む方法を思考し判断することができる。



⑮多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑯傷病に伴う課題解決のために、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

[社会人経験を踏まえての状況：人間福祉専修]

① 社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。



② 現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



③ 様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。



④ 社会福祉の学びの上にとって、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。



⑤ 社会福祉に関係する諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑥ 地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を思考することができる。



⑦ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑧ 生活問題を抱える人々の尊厳を保持するため、当事者の立場に立ちながら、個人が持つ力を最大限高めるための支援技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

⑨ 国際化・情報化・高度技術化が進む現代社会の中で、多様な人々とかかわるためのコミュニケーション方法を身につけ、実践することができる。



⑩ 人権の視点に根ざしながら、日々の生活の中で市民としての責務を果たし、市民性を発揮することができる。



⑪ 支援を必要とする人々の抱える問題やそれを支えるコミュニティのあり方を社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。



⑫ 社会福祉の学びの上にとって、幅広い教養を備えた市民、職業人（企業人・教員を含む）として活動することができる。



⑬ 支援が必要な人々に向けて、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。



⑭ 支援が必要な人々の問題を発見し、その解決に向けて取り組むための方法を思考し、判断することができる。



⑮ 多様な価値観を受容し、よりよい共生社会を構築するための方策を他者と協同しながら思考することができる。



⑯ 支援を必要とする人々の抱える課題に対して、適切な相談援助技術を身につけ、実践することができる。



■ とても重要重要 ■ 重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない

[大学で履修した科目で特に有意義であったと思う科目]

専修	科目等
行政専修	サービスラーニング
子ども専修	児童養護や障がいに関すること
医療専修	精神保健福祉士養成過程科目
人間福祉専修	サービスラーニング
	ゼミ
	ゼミ

以上